

テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議 活動通信 第3号(2017年9月)



テロ情勢と官民連携の重要性

- ◇ 中東のISIL(通称イスラム国)が衰退していく中、ISILに参加していた各国のテロリストが自国に戻り、善良な市民に紛れ自国でテロを画策していると言われています。
- ◇ また、東南アジアでは、フィリピンやインドネシアにISILに参加していた者達が集結していると言われており、政治・経済面で東南アジア諸国と関係が深い本県も、決して対岸の火事ではありません。
- ◇ 今後、各種集客イベント等においてテロの未然防止を図っていくためには、警戒の目を増やす意味でも官民連携の対策を図ることが重要となりますので、御協力をお願い致します。

宮崎ガス株式会社とのテロ対策訓練の実施【7月26日】

- 「テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議」の構成員である、宮崎ガス株式会社宮崎支店において、警察本部警備部警備第二課員によるテロ未然防止の事前教養を行った後、引き続き、不審電話を受けてから安全確保までの訓練として、①立入り規制、②不審物の検索、③安全な場所への避難、④爆発物処理訓練等、順次流れを確認しながら実施した。
- 官民連携による初のテロ対策合同訓練であったが、不審電話の入電から不審物の回収まで、ロールプレイング方式による訓練を行ったことで、それぞれの任務の重要性が確認でき、テロ発生時の対処能力の向上と危機意識の醸成が図られた。
- テロ対策訓練を実施したいなどのご要望がある場合は、事務局に連絡をお願い致します。



事務局：代表電話 0985-31-0110 (内線5792・5832)

爆発物原材料対策研修会開催

- 平成29年8月30日(水)、宮崎県警察本部大会議室において、テロ対策宮崎パートナーシップ推進会議の構成員を含む関係機関・団体が集まり、爆発物原材料対策の研修会を開催した。
- 当研修会では、講師を招いて、爆発物原材料対策の現状についての講演が行われた後、①不審者の特徴の捉え方、②店舗訪問時の対応要領、③電話注文時の対応要領が、ロールプレイング方式の実演で行われた。
- 爆発物使用によるテロの脅威、官民連携による爆発物の原材料となり得る薬品に関する諸対策の重要性について、意識共有が図られた。



「官民一体となったテロ対策」で、安全・安心の街作りを！